

## 研究に関する公開情報

公立陶生病院では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけでしたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] 黄色ブドウ球菌血症のフォローアップ血液培養の最適な採取数に関する検討

[当院研究責任者] 部署名 感染症内科 氏名 武藤 義和

### [研究の背景・目的]

黄色ブドウ球菌性菌血症（SAB）は、100,000人年あたりの発生率が10～30と推定される一般的な疾患であると同時に、30日死亡率が約16%と推定される重篤な疾患でもあります。SABのマネージメントにおけるガイドラインでは、菌血症の持続期間を判定するために、2～4日目に血液培養をフォローアップすることが推奨されており、持続的な菌血症がある場合は合併症を発生する頻度が高いため、菌の陰性化は極めて重要とされていますが菌血症の除去を証明するために必要な陰性のタイミングと回数は、研究文献や臨床ガイドラインで定義されていないのが現状です。

そのため今回、我々は本研究において、SAB患者でのフォローアップ血液培養に必要なセット数を後方視的に検討し、菌血症の消失を判定するための最適な血液培養セット数を評価いたします。

### ■ 研究の対象となる方

2017年1月から2024年12月に公立陶生病院で血液培養陽性にて診断を受けた黄色ブドウ球菌血症患者の方。

### ■ ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、身体所見、症状、採血検査、画像検査、生活環境、治療内容、治療経過など)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究責任者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■ 研究期間 実施許可から2026年12月末まで

### ■ 個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101 FAX 番号 0561-82-9139

研究責任者 感染症内科 武藤 義和